

軽米町上新町地区と 自主防災会について

軽米町総務課

総務担当 主事 坂本 隆磨

1 地区の概要(事業計画時点)

上新町の規模と
備える災害

世帯数「148」
水害、土砂災害、地震災害

現状の活動状況
(H29.4.22設立)

- 自主防災組織の役員の意識は高いが、近年では大きな災害がなかったため組織としての活動はなく、各々で活動することが多い。
- 自主防災組織で活動しているというよりは、町内会として地区の行事や活動に取り組んでいる。
- 高齢者が多いため、雪害に備え「除雪機」を補助金で購入し活用している。

課題等

- 町内会と自主防災組織をどのように位置づけし組織化するか。
- 組織としての活動内容をどうするか。
- 関係機関(町・消防団等)の取組内容を把握し、自主防災組織が取り組むべき内容や活動範囲を知る。

上新町地区の 選定理由

過去に災害(洪水)を経験した地区であるが、自主防災組織として、どう活動したら良いか具体的方向性に悩みを抱えていた組織を選定した。

また、中心街の核となる指定避難場所・避難所(軽米町役場等)が存在する地区であるため、災害時、各機関と自主防災組織の連携を図れればと思い上新町地区を選定した。

自主防災組織活性化 モデル事業を希望した 経緯

地域防災力の向上はもちろんですが、私が防災担当に就いたばかりでしたので、自主防災組織を知るためにも良い機会だと思い希望しました。

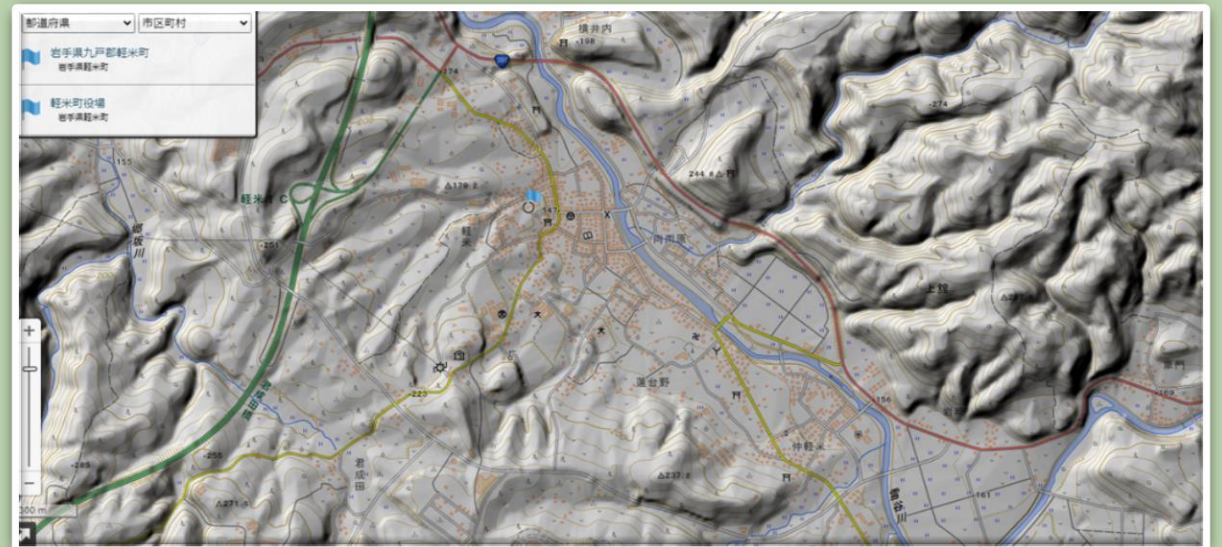
2 軽米町(上新町地区)について

(1) 地理・地形

■概要 (軽米町と上新町地区の位置、面積、地勢)

軽米町は岩手県の最北端に位置する町です。東は久慈平岳を望み、洋野町と、南は久慈市と九戸村、西は折爪岳を隔て二戸市と、そして北は青森県八戸市、南部町、階上町と隣接しており、面積は245.82km²です。

また町を流れる雪谷川は、平成11年の豪雨災害で軽米町に甚大な被害をもたらし、中心街に位置する上新町地区の一部も浸水被害を受けた。



■ 上新町地区



(2) 人口規模・主な生活圏

■概要

- ・ 軽米町の総人口（R3. 2. 28現在）
→ 8,735人(3,763世帯) ※住基人口

- ・ 主な生活圏

岩手県…二戸市、一戸町、九戸村、久慈市、洋野町

青森県…八戸市、階上町、南部町



3 上新町地区の災害想定と事業前の主な活動について

(1) 上新町地区で想定される災害

・ 水害（一部内水氾濫）

※平成11年10月 軽米町豪雨災害

「建物被害」（平成16年作成災害復興誌参考）

全壊… 25棟

半壊… 5棟

床上浸水…456棟

床下浸水…137棟



←
ゴミや流木により
ダム化した昭和橋

豪雨災害の被害は全町に及びましたが、建物被害は大氾濫を起こした雪谷川流域に集中。上流から下流域までの広範囲にわたって、建物の倒壊や浸水被害に遭いました。

特に、町中心部の荒町地区と向川原地区を結ぶ昭和橋は、濁流に運ばれた流木など、大量のごみが堆積してダム化。橋の両岸と向川原地区方向に流れを求めた濁流が民家を襲いました。

- 土砂災害

- 赤…土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）

- 黄…土砂災害警戒区域（急傾斜地）

- 雪害

- 地震災害



(2) 事業前の主な活動状況

■ 除雪機の購入

上新町地区は、平成11年の豪雨被害で一部被害に遭ったものの、他の災害で被害に見舞われたことが無く、災害に対する危機感が無かった。そこで上新町地区は、道が狭く除雪車が通れない箇所が多いという理由から雪害に備え除雪機を購入した。

■ 自主防災会<町内会>の活動

町内会の各個人が、議員や役場職員、防災士といったように各々の意識が高く、自主防災組織としての活動というよりは、町内会として活動していた。